

第2回裾野市総合計画策定協議会 記録

開催日時 令和元年8月29日(木) 18時30分～20時40分

開催場所 裾野市役所4階 401会議室

出席委員 27名

八木健二委員	杉山はま子委員	杉山あつ子委員	西島奉行委員
吉岡景子委員	成田千恵美委員	横山恵美委員	須藤九十九委員
植松静夫委員	坂田佳代子委員	三ツ石純子委員	木原甚内委員
佐藤優輝委員	勝又優帆委員	杉山克己委員	渡邊康一委員
杉田博道委員	土屋八重子委員	安田明委員	伊東貴美代委員
眞田和政委員	深野裕士委員	関野康委員	赤沼道也委員
望月保宏委員	高木茂委員	塩崎利和委員	

欠席委員 4名

岡田廣正委員	秋山清美委員	藤井里美委員	平野貴洋委員
--------	--------	--------	--------

事務局 裾野市企画部企画政策課

部長 西川篤実	課長 加藤忠彦	課長代理 坂田幸洋
主幹 渡瀬重勝	係長 長田雄次	主席主査 勝間田純嗣
主任 川上佳紀		

ランドブレイン株式会社

石村壽浩	中原勝平	鈴木浩史	
------	------	------	--

次第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議事
 - (1) 市民意識調査結果の経年比較について
 - (2) 第4次裾野市総合計画後期基本計画及び裾野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について
 - (3) 第5次裾野市総合計画基本構想骨子について
- 4 まちの将来像に関するグループワーク
- 5 その他
- 6 閉会

1 開会

事務局	定刻になりましたので、ただ今から第2回裾野市総合計画策定協議会を開会します。
-----	--

—事務局より、本日の資料確認—

次第

裾野市総合計画策定協議会委員名簿

資料1：市民意識の経年変化（平成21年度調査との比較）

資料2-1：第4次裾野市総合計画後期基本計画の進捗状況

資料2-2：裾野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

資料2-3：裾野市総合計画等評価委員会の意見

資料3：第5次裾野市総合計画基本構想骨子

参考資料1：意見シートまとめ ※意見シート原本の写しを追加で配付

参考資料2：第1回裾野市総合計画策定協議会の振返り

『裾野市のミライのまちづくりキーワード TOP3』

参考資料3：総合計画における将来像の他都市事例

参考資料4：計画策定スケジュール

第4次裾野市総合計画後期基本計画冊子

2 挨拶

—会長・副会長挨拶—

会長	本日もお忙しいところ、ご参加頂き、ありがとうございます。 限られた時間ではありますが、よろしく願いいたします。
----	--

副会長	本日もよろしく申し上げます。
-----	----------------

3 議事

—進行は三ツ石会長—

(1) 市民意識調査結果の経年比較について

説明

—事務局から、平成21年度と令和元年度の市民意識調査結果の比較による市民意識の経年変化について、資料1を用いて説明を行った—

質疑応答

西島委員	市の政策全体・定住意向のところで、極端に数値が変化し、不満が多くなっています。具体的になぜそうなったのか、理由をつかんでいたらご説明頂きたいと思います。
------	--

事務局	行財政構造改革や大手企業の撤退の影響であると考えております。 定住意向につきましては、ずっと住み続けたい、どちらかと言えば住み続けた
-----	---

	いというような市内に住み続けたい人の割合は、さほど変化がないため、社会情勢を背景とした閉塞感を打開して欲しいという意味で満足度が低いと思います。
須藤委員	今の回答で納得できたように思えないのですが、西島委員、いかがでしょうか。
西島委員	アンケート結果からの推察だけだと、アンケートを取った意味があまりないと思いました。例えば、定住意向の項目で市外転出が多いという結果については、住みたいが、市外に転出するという意思が多いので住める場所が無いとも言えると思います。社会情勢の変化により財政が厳しいのもわかりますが、市としての対策があまり見えないので不安を感じます。理由を掘り下げて欲しいです。
須藤委員	どのような人を対象にしたのか等、調査の概要について説明すべきではないでしょうか。また、年代別にグラフを用いて示した方がわかりやすいのではないのでしょうか。
事務局	<p>市民意識調査の設問が 10 年前と変わっているため、誤解を生むような資料となってしまう、申し訳ございません。ただ、10 年前の感覚を持ちながら、現在はどうのような意見を持っている方がいるのかがわかる参考資料になるとは思っております。</p> <p>定住意向につきましては、この市民意識調査では、市の施策がどのように反映されたのか明確になってはおりませんが、市内に住む場所が無いというお声は頂いております。市の取組みとしては、市街化調整区域を市街化区域に編入させて頂き、住宅地を創出することが決まりました。これにより、来年以降に定住意向や定住の数が明らかになると思っております。</p> <p>市民意識調査の対象については、無作為抽出した裾野市在住の 20 歳以上、1,000 人とし、年代による偏りが出ないように抽出しております。また、この資料は、今年度の意識調査の結果をお示ししたいのではなく、10 年前との意識の変化を知って頂き、新たな計画をつくっていく上での参考にして頂きたいという趣旨でお示ししております。</p> <p>調査概要の説明が不足していた点や資料の趣旨についての説明が無かった点につきましては申し訳ございません。</p>
会長	結果は、グラフ化してお見せ頂く事は可能でしょうか。
事務局	最終的な成果物にはグラフが入ります。

(2) 第 4 次裾野市総合計画後期基本計画及び裾野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

説明

一事務局から、現総合計画及び総合戦略の進捗状況について、資料 2-1、資料 2-2 を用いて説明を行うとともに、外部の有識者で構成する「裾野市総合計画等評価委員会」の意見を取りまとめた資料 2-3 を参照しながら説明を行った。また、策定協議会委員から事前にいただいた市の課題に係る意見について、参考資料 1 を用いて説明を行った一

—植松委員から、市の課題について植松委員作成の資料を用いて説明を行った—

植松委員 | まず、シティプロモーションに関連しますが、メディアを使った情報発信について、資料のグラフと表をご覧ください。これは、7月の静岡新聞における裾野市に関する記事の掲載件数であり、裾野市の元気さや積極性を表すバロメータになると思います。これを見ると裾野市の件数は少なく、19件でした。そのうち半分くらいが警察に関連する記事であり、裾野市からの発信はほとんどないと感じました。その理由としては、ニュースとなる話題や重要な取組みが少ないこと、行政や市民からの情報発信が少ないことが考えられると思います。シティプロモーションを行うことで市民は誇りを感じるだろうし、裾野市に住みたい人も増えると思うので、積極的に行って頂きたいと思っています。

次に、裾野市の駅前の景観形成についてです。駅西の区画整理に伴い、建物の建替えが進んでいますが、建物の形や色に関する基準が無い状態です。地区計画では、定められていますが、周辺と調和した色彩にするといった曖昧な表現となっているため、ほとんど自分の好きなようにつくることができる状態になっています。駅前には市の顔であるため、地元の方と話し合っただけで基準を決めてもらいたいと思います。強制はできないにしても、基準色としてベージュ系、ブラウン系にする等のように目安を設けると、美しい街並みができるのではないのでしょうか。

質疑応答

塩崎委員 | シティプロモーションについて、市の職員が個別に発信するのではなく、戦略広報課が一括して行った方が統一性があると思います。いかがでしょうか。

事務局 | 裾野市では、職員一人一人が広報マンであると位置づけ、情報発信を行っていかせています。現状、十分に発信できていない点もあるかと思いますが、今後、全職員で取り組めるよう進めていきたいと考えております。

塩崎委員 | 職員一人一人が情報発信をしていくことは賛成ですが、発信していく内容の基軸が統一されていないと思います。例えば、色についても、裾野市の色である緑ではなく、ちぐはぐな使い方をすると裾野市の印象をつけにくいと思いますので、今後、しっかりと取り組んで頂きたいと思います。

深野委員 | 資料2-3の評価について、市民の声でしか評価していないような資料になっていますが、調査結果を受けてどのように現状を認識していますか。

事務局 | 資料につきましては、市の職員で評価・反省等を行い、その後、外部の方々に客観的に評価を頂いた結果です。各事業の内容、結果、今後の取組み等については、HPで公開しておりますので、ご確認頂ければと思います。

須藤委員 | 裾野駅の再開発が遅れていると思います。また、国内の駅周辺再開発はうまくいっていない例が多いですが、そのような事例を見たことはありますか。

事務局 | 裾野駅前の土地区画整理については、計画当初とは社会状況が変わっていることもあり、現在は令和11年度に完成する予定で進めています。また、再開発事業と区画整理事業は別のもので、新しいまちづくりを進める手法として、区画整理事業を行っています。

須藤委員 | 経済状況が悪くなる中、目玉となるような事業が進まなくなっていることもあ

ると思います。再考することも必要なのではないのでしょうか。

会 長 | その他にご意見のある方は、次に行う WS の中や策定協議会の後で事務局の方
に言って頂いても構いませんので、よろしくお願ひいたします。

(3) 第5次裾野市総合計画基本構想骨子について

説明

一事務局から、基本構想骨子について、資料3を用いて説明を行った。また、参考資料1を用いて、基本構想骨子に記載した「まちづくりとのキーワードと方向性」について、事前に策定協議会委員からいただいた意見を説明するとともに、以後のワークショップの参考とするため、他市町の将来都市像について、参考資料3を用いて説明を行った。

質疑応答

真 田 委 員 | 今後の道路整備等についてどのように考えているのか教えて頂きたいです。

事 務 局 | 都市計画道路・都市計画について、いろいろ課題があるとは思いますが、そこに特化して物事を考えてしまうと描く将来像がなかなか浮かんでこないと思います。課題あつての整備になるので、課題を踏まえて何が良かった方がよいか、というところを総合計画で取りまとめていきたいと考えています。詳細については、この会の趣旨とそれとてしまうため個別でお話しができればと思います。

土 屋 委 員 | 今後の策定協議会でなにをやるのか教えて頂きたいです。また、ここで出た意見をどのように反映されますか。誰が最終決定するのですか。

事 務 局 | 今回、まちの将来像を考えてもらい、次回、そのために何を必要があるのか考えて頂きたいと思っております。

行政だけの視点からでは偏りが生じるため、市民の方からの意見も踏まえて策定していきます。委員の方からの意見を踏まえて案を作成し、その内容でよいか、庁内、策定協議会の中で詰めていくような流れとなります。

策定協議会は4回となっていますが、会議と会議の間で、素案についての意見をいただけるよう、委員の方にフィードバックしたいと思っております。

会 長 | この策定協議会では、個人として考えるのではなく、それぞれの立場から見たまちの課題や将来像について意見を出して頂いた方がわかりやすいと思います。

4 まちの将来像に関するグループワーク

—5 グループに分かれ、『まちの将来像』に関するグループワークを行った—

A 班

☆：シール（投票）数 太字：発表で特に強調されたキーワード

まちの将来像
《子育てと人の交流が盛ん！》
まちのキーワード
《多様性》 <ul style="list-style-type: none">・多様性を受け止める☆☆・世代間の交流が進むまち☆・子供から老人まで安心して生活できるまち 《子育て》 <ul style="list-style-type: none">・（幹）子育て世代が住みたい町（育った子供がふるさとにまた住んでくれる街）☆☆☆☆・異業種の協働（コラボ）☆☆☆・“戦略的広報”やはり必要。☆☆・“予防” 予防医学、防災☆☆・（枝）安全な交通環境の確保（歩道、街灯の設置）・（枝）特色ある学校教育の充実（自然学級や地域連携）・（枝）子育てに手厚い施策（給食費補助など）・（枝）学校教育以外の充実（生涯学習の広報はあるが、月間のもも含めて、もっと充実・紹介を）・（枝）子供が安心して住めるコミュニティの構築（透明性の高いまち）どこに誰が住んでいるか判る 《働き》 <ul style="list-style-type: none">・企業誘致を進め財政収入増を図るまち☆・便利さだけを追求しない☆・ヘルシーパーク、梅の里、遊花の里を充実させた物、皆が集まるようにして☆・富士山と箱根山がシンボル☆・愛鷹山・富士山・箱根山。これを活かす。☆・経済（人口）。これは変える☆・働き場所を確保するまち・税込減少、企業を頼らず自然を利用（事業）・安価な住宅地を提供し定住を進めるまち・裾野を訪れる人口をふやそう！・プールの跡地、皆で構想を練って欲しい・行政トップのリーダーシップを見せること・人づくり・観光

B 班

まちの将来像

《儲ける町すその》

- ・儲かるまち、うみだすまち☆☆☆☆☆☆
- ・人材も金もつながりも

《その他》

- ・教育☆☆☆
- ・改革☆☆
- ・新しい事へどんどんチャレンジ。隣のまちでやってるからさあやろうは遅い☆
- ・財政困難でも安心できる教育☆
- ・おいしい水の町☆
- ・長泉に負けるな☆
- ・高齢者が安心して生活できる町☆
- ・自信を持つとう☆
- ・医療
- ・住宅
- ・交通
- ・環境
- ・公園
- ・若手職員ガンバレ
- ・富士山を背景にして、美しく統一感のあるまち（中心部）

まちのキーワード

《プラス》

- ・人づくりにお金をかける。住民も職員も
- ・自慢しよう
- ・金を儲けよう
- ・働き方改革と道路整備（市民ファーストの道路活用、利用）

《ぐち、マイナス》

- ・積極性が足りない
- ・現在のまちのレベルは？A~C・D
- ・今の裾野はどここの位置？（全国レベルで）
- ・五里霧中のまちになるな
- ・自信を持てるか？
- ・AIの満足3位は？（不明）
- ・PR不足
- ・富士山をもっと生かそう。準高地トレーニングはどれだけの人が知っている？
- ・私達のまちはどこへ行くの？
- ・まとまりがない
- ・大人も子供も集まって楽しめるまちの広場（中心部）
- ・街なかをブラブラと過ごせるまち（中心部）
- ・自家用車がなくても公共交通で暮らせるまち
- ・外部から憧れられる素敵なまち

C 班

まちの将来像
《人》☆☆☆☆☆ ・ひととまちが笑顔に ・富士山に見守られて人と人がつながるまち ・人がつながる、あつまる、富士山のふもとのまち ・都会とはひと味違ういやされる町裾野 ・まちとひと笑顔あふれる元気な町裾野
まちのキーワード
《場所・施設》☆☆☆☆☆ ・心の“幸福” ・若者のUターン促進・定住 ・いやしの場 ・交流の場 ・都会の生活から逃げられる場所 ・市民がお金を使える施設 《富士山》☆☆ ・歴史と文化 ・富士山 ・富士山と関連するスポットめぐり 《安心安全》☆☆ ・治安の良さ ・安心・安全 《情報》☆ ・ワンポイントな政策、目標を明確に ・駅前⇄富士山 ・情報発信 《スポーツ》 ・文化（スポーツ、美術） ・スポーツによる交流 ・スポーツ施設の充実 《子ども》 ・人と人・ルール ・シルバー人材の活用 ・助け合い・支え合い ・人と人とのつながり ・人の温かさ ・若者と老人のふれあい ・若者が集まれる場所 ・子どもたちがくらしやすい町 ・子育て 《国際交流》 ・オーストラリア姉妹都市 ・国際交流 《その他》 ・高低差 ・“周りにはないもの”の創出 ・助け合い

D 班

まちの将来像
《人と自然の調和を活かす 富士のすその 田園未来都市》
まちのキーワード
《歴史》 <ul style="list-style-type: none">・地域の歴史や伝統を継承し次世代に残す裾野市・歴史 《自然》 <ul style="list-style-type: none">・自然・自然豊かな先端都市裾野市・富士山・富士山の良さを世界に発信しながら守っていく裾野市 《人のかかわり》 <ul style="list-style-type: none">・人と人との関わりを大切にしていく裾野市・人の温かさ・すべての人が居場所を持ち生きがいを感じる裾野市・地域とのつながり・満足度・中高生、学生が集まれる場所の充実 《経済》 <ul style="list-style-type: none">・企業誘致 《子ども》 <ul style="list-style-type: none">・子育てしやすい街・子どもの遊び場の充実・母親が笑顔になる街

E 班

まちの将来像
<ul style="list-style-type: none">・裾野らしさって??何をポイントとするか。・自然をいかして人を大事にするまち・安心安全に最期まで生きられるまち・子育てに特化・自然の中で子育てができるまち・医療・学費・保育費・給食費が無料の街
まちのキーワード
<ul style="list-style-type: none">・緑もいかして水もいかして☆☆☆☆・エッジをきかせた施策☆☆・市民が主役のまち☆☆・富士山☆・結局「人」大事！！・自然

5 その他

事務局

その他といたしまして、次回の会議日程も含めた今後のスケジュールについて御説明します。

次回の第3回目の策定協議会は11月20日、水曜日の18時30分から20時30分までを予定しております。場所は本日と同様、こちらの401会議室になります。

次回の会議では、本日の御意見を踏まえた基本構想をお示しするとともに、基本構想を基にした基本計画の内容に入っております。

11月20日までに期間が空いておりますので、途中の段階で、皆様に進捗状況をお示しするとともに、書面にて御意見を頂くことを考えております。

6 閉会

事務局

以上をもちまして、第2回裾野市総合計画策定協議会を終了します。

本日は、大変お忙しい中、長時間にわたり御出席頂き、誠にありがとうございました。

以上